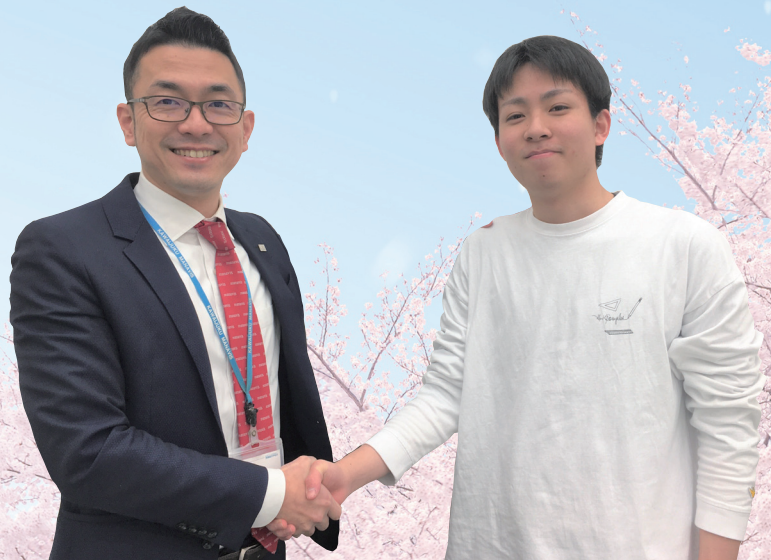


京都大学 農学部

寺井 誠人くん (金大附属高校)

校舎長 × 合格者 ～合格対談～



京都大学 農学部に見事現役合格を果たした寺井くんは、高校2年の夏前に河合塾マナビスに入会。河合塾マナビスでの受験生活を、井上校舎長と振り返ってもらいました。



井上校舎長「京大現役合格、おめでとう!」

寺井くん「ありがとうございます!本当に最高です!!」

井上校舎長「思い起こせば、高2の夏前にマナビスに来てくれたねえ。」

寺井くん「はい。あの時は…ひたすら成績が下がりがくって…。」

井上校舎長「うん。部活に夢中だったからか、学習量も少なかったね。」

寺井くん「そうなんです。京大っていう漠然とした目標はあったけど。何からはじめればいいのかよくわからなくて。やる気もあんまり…。」

井上校舎長「確かに。バスケ部の活動もそこまでハードじゃない割にはやってない笑」

寺井くん「ホントお恥ずかしいです笑。独学に限界も感じていました。高校のテストとか模試を受けてもドンドン下がる一方で…」

井上校舎長「それで体験に来てくれて、成績を見ながら志望校までの話をしたね。」

寺井くん「ぼく井上先生の話聞きながら『ヤバいな…』って本気で思いました。でもあきらめずに目指そうって計画を見せてくれて、なんかやる気が出て。ここでやるしかない!って思いました。」

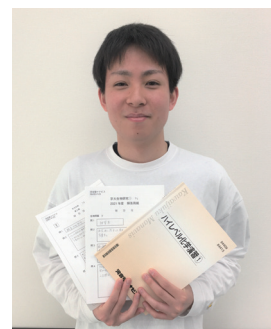
井上校舎長「面談ではなるべく客観的なデータや具体的な計画をお伝えするようにしています。」

寺井くん「そうなんです。実は京大でも合格者は現役生の方が多し事とか。あとはマナビスで合格した先輩たちの具体的な学習方法なども聞いて。この人に任せようかな、って思って。」

井上校舎長「それはありがたいお言葉。で、まずは基礎を固めることと復習の仕方について伝えたね。」

寺井くん「はい。『難関大合格者ほど、基礎って言葉をよく使うんですよ』って言われてハツとなりました。部活の先輩で京大に進学された方も、同じことを言われてました。あとはやっぱり復習ですよ。」

井上校舎長「そう。マナビスでは日々の映像授業の復習に加えて、特に模擬試験の復習サイクルを大切によう指導しています。とくに高校生のみなさんは復習をおろそかにしがちですね。」



最後まで共に戦ったマナビスのテキスト



さいごは笑顔の
ピースで卒業!

寺井くん「ホントに耳が痛いですが笑。具体的な復習方法も知れて、納得しかありませんでした。あとはやはり授業とテキストがすごい。独学でやるより圧倒的に効率的で効果的でした。京大入試本番で化学があんなに取れるとは思わなかった。数学の大失敗をカバーしてくれました。」

井上校舎長「初日が終わった時は、もうダメだという思いもよぎったって言ってたね。」

寺井くん「はい。でもいつも先生が言ってた『最後まであきらめたらいけない』という言葉でがんばれました。これは他のマナビス生もみんな言ってますけど、月一回のホームルーム、ほんと最高でしたよ。」

井上校舎長「恐縮です。いつも本気でやっています。じゃあ、最後に後輩たちにメッセージを。」

寺井くん「“揺るぎない覚悟を持つ”“志望校に必要なことだけやる”“マナビスを使いまくる!”以上です。京大合格は間違いなく先生とマナビスのおかげ。本当にありがとうございました!」

井上校舎長「お力になれて本当によかったです。第一志望現役合格、おめでとう!!」

寺井くん、現役合格おめでとうございます。今後の更なる活躍を期待しています。